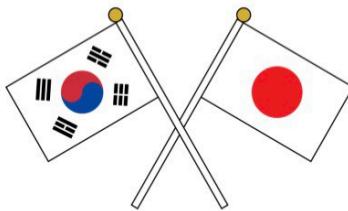


【報道関係各位】
2026年1月13日
株式会社メディデント



【日本の医療DXが世界標準へ】 ミライズウェルメディカルグループ代表・富田大介、 韓国・国立全南大学の国際教育フォーラムで招聘講演

— 米国トップ研究者と並ぶ登壇で「熟練医の視線」をAI×XRで可視化
会場から「即・現地招聘」の異例オファー—



Eye-Tracking-Informed Imaging-Driven 3D Clone Models for XR-Based Surgical Diagnosis and Learning

Daisuke Tomita D.D.S
Mido Abdelhakim, MD, PhD



MEDIDENT.
health care for a better society.

09/01/2026

株式会社メディデント・ミライズウェルメディカルグループ(本社:東京都港区、代表:富田大介)は、当グループ代表の富田大介(歯科医師・矯正歯科専門医)が、2026年1月9日、韓国・国立全南大学(Chonnam National University)主催の第37回国際教育フォーラム『37th EduTech Education Forum: Eye-Tracking in Learning Environment』に日本代表ゲストスピーカーとして登壇することをお知らせいたします。

本フォーラムは37年の歴史を持つ権威ある学術会議で、イリノイ大学、テキサス工科大学など米国名門大学の教授陣が参加。当初予定していた現地登壇は国内の診療・経営業務との調整によりオンライン形式へ変更となりましたが、発表内容が現地参加者に大きな衝撃を与え、その場で「2026年内の現地正式招聘」および「2027年再登壇」が決定するという、極めて異例の展開となりました。

■ 発表の核心: 「匠の技」をデータ化し、次世代に継承する



37th EduTech Education Forum: Eye-Tracking in Learning Environment

富田は「Session 2」のメインスピーカーとして、『Eye-Tracking-Informed Imaging-Driven 3D Clone Models for XR-Based Surgical Diagnosis and Learning(視線追跡に基づく画像駆動型3Dクローンモデルを用いたXRベース外科診断・学習)』と題した講演を実施しました。

発表内容の3つの革新性

Why Eye-Tracking Matters in XR-Based Learning

Expert Gaze

Experts demonstrate structured visual attention patterns that reveal their clinical expertise:

- Focus on diagnostic landmarks
- Structured, efficient scanpath
- Purpose-driven visual attention



Novice Gaze

Novice learners exhibit less structured and more scattered visual attention patterns:

- Focus on diagnostic landmarks
- Structured, efficient scanpath
- Purpose-driven visual attention

Novice gaze patterns are often characterized by:

- É PÑÑRÖÖ PÖ CÑMÖP NP P CÑNÑNÖMÖ ÓÑJ ÇÖCE
- J ÖDEP NP PÑÑR MÑÑNÖN CÑMÖMÖ
- Lack of diagnostic prioritization



Eye-tracking visualizes clinical attention and cognitive strategies that are invisible in conventional XR learning.

発表資料の一部

1. 熟練医と初学者の「視線の違い」を科学的に解明

Eye-Trackingデバイスを用いて、ベテラン医師と初学者が診断時に注視する箇所や思考プロセス(Cognitive strategies)を定量的に可視化。これまで「経験」や「勘」として語られてきた医療技術を、データとして次世代へ確実に継承する手法を提示しました。

2. 患者データから生成した3Dクローンモデルによる外科シミュレーション

実際の患者の生体データから高精細な3Dモデルを構築し、XR(拡張現実)空間内で外科手術のシミュレーションを実現。失敗が許されない実臨床において、安全かつ高度なトレーニング環境を提供します。

3. 診断・教育・臨床を統合した次世代医療インフラの構築

テクノロジーを単なる「補助ツール」ではなく、医療の質そのものを引き上げる社会基盤として再定義。日本発の医療DXモデルとして、国際的な注目を集めました。

■ 会場の反響と今後の国際展開

フォーラムには全南大学教育研究所(Institute of Educational Research)のJeeheon Ryu教授をはじめ、グローバルな研究者ネットワークが参加。富田の講演に対し、「日本の医療DXがここまで実用段階にあるとは驚愕だ」「ぜひ共同研究を開始したい」「大学院生への直接指導をお願いしたい」といった声が相次ぎ、講演終了直後に2026年内の現地正式招聘が即決されました。

今後、全南大学教育研究所および医療系研究者との国際共同プロジェクトが立案される予定で、日韓の医療テクノロジー交流における新たな架け橋となることが期待されています。

■ 「オンライン登壇」が生んだ逆転のストーリー

当初は現地登壇を予定していたものの、国内での診療・経営業務が多忙を極めたため、急遽オンライン形式へ変更。しかし、モニター越しに提示された革新的な技術とビジョンは、物理的な距離を超えて会場を熱狂させました。

「多忙ゆえのオンライン参加が、かえって富田の希少価値と発表内容の質の高さを証明した」-この逆説的な展開は、日本の医療DXが世界をリードしている現実を象徴しています。

代表者プロフィール

富田 大介 (Daisuke Tomita)

ミライズ矯正歯科院長・ミライズウェルメディカルグループ 代表／歯科医師

日本顎変形症学会 認定医（矯正歯科）、日本矯正歯科学会 認定医・代議員
東京医科歯科大学大学院修了。スタンフォード大学客員講師。香港中文大学、AI
Ryada大学客員教授。東京医科歯科大学非常勤講師。顎変形症治療における矯正歯科
と口腔外科の一元管理体制を日本の民間医療機関として早期に確立。AIやXR技術を
活用した歯科臨床とデジタル矯正治療の分野で国際的な講演多数。海外医療機関と
も連携を進め、患者中心の医療構築と国際標準化に尽力している。

ミライズウェルメディカルグループについて

ミライズウェルメディカルグループ（本部：東京都港区）は、矯正歯科・口腔外
科・総合歯科・予防医療・再生医療を軸に、南青山・銀座エリアを中心とした次世
代型医療ネットワークを展開しています。

【“治す”医療から“叶える”医療へ】を理念に、AIやXR、3Dなどのデジタル先進技術
を駆使した精密診療、外科矯正の一貫体制、再生医療や国際連携による先進的な臨
床・学術的取り組みを推進。

ミライズ矯正歯科南青山、ミライズオーラルヘルス南青山、ミライズオーラルヘル
ス銀座、ミライズクリニック南青山、ミライズクリニック銀座、ミライズ総合歯科
南青山、ラボ施設、そして統括法人である株式会社MEDiDENTを擁し、臨床・教
育・研究の融合による革新的な医療提供を目指しています。

ミライズウェルメディカルグループ／株式会社メディデント

所在地：東京都港区南青山6-13-5 ポルトポヌール2F

代表者：代表取締役・CEO 富田大介

事業内容：歯科医療、再生医療、医療コンサルティング、医療DX、医療関連機器開発

WEB：<https://medident.co.jp/> | <https://mirise-ortho.com/> | <https://mirise-ortho.com/dental>